

くすのき



樟蔭学園報 Vol.164

大阪樟蔭女子大学/学院・大阪樟蔭女子大学短期大学部・樟蔭高等学校・樟蔭中学校・大阪樟蔭女子大学附属幼稚園



ますます充実する樟蔭学園の校舎群

小阪キャンパスでの大学新館の建築に引き続いだ、学園内には次々と新しい建物が建てられています。平成8(1996)年に建てられた地上5階建ての中学校・高校の新校舎は、明るく過ごしやすい普通教室だけでなく、高品質の音響設備を備えた音楽室や、最新のパソコンを完備したコンピュータ室、エアロバイクやベンチプレスを設置したトレーニングルームなど、充実した設備が整えられました。平成9(1997)年には、開園以来からの幼稚園園舎を建て替え。床暖房を備えた保育室や、天窓から陽光がふりそそぐ遊戯室など、これまで以上に子どもたちが伸びやかに過ごせる環境が作られました。また、関屋キャンパスでは平成13(2001)年に人間科学部が開設され、無線LANやプロジェクターなどの最新のIT環境を整えた新校舎や、豊富な資料と充実したAV設備を備えた図書館が建築されました。「質の高い女子教育」を実現するためには、「充実した最新の設備を整え、常に良好な教育環境を維持することが大切である」という創立者の思いは、平成に入ってもこの学園に受け継がれています。

1996 中学校・高校の新校舎が完成



NEWS ●	
堀江地域との連携プロジェクトがスタート	8
ホームカミングデー 10月 30日 開催	11
レポート ● [点滴と栄養の関係] 保木昌徳	1
SHOIN LABO ● [幼児教育・保育のエキスパートを育成]	
比留間みどり・阿部直美	3
こもれびの窓 ● 絵葉バレエスクール主宰廣瀬絵葉	5
CLUB NAVI ● 中学校バトントワリング部	7
はぐくむ心 ● 中学校教諭 稲田麻衣子	7
INFORMATION ● 参加イベントのお知らせ	11
We are NOW ● 各校行事など	13
平成21年度決算概要報告	17
SHOIN点描 ● 1996年中学校・高校の新校舎が完成	19

健康栄養学科公開講座

「点滴って栄養?-その歴史と医療における役割-」

保木 昌徳氏(本学 学芸学部 健康栄養学科 教授/本学 大学院 人間栄養学専攻 教授)

2010年6月12日(土)開催



保木 昌徳

【ほりゅう】
滋賀医科大学を卒業後、大阪府大阪市生まれ。医学博士・小児外科医。
現在は、チーム医療の中で「コーディネーターとして活躍できる管理栄養士の養成に力を注いでいる。
要職を歴任してきただけでなく、アメリカのフロリダ大学医学部において研究員として勤務した経験も持つ。
2008年に大阪樟蔭女子大学健康栄養学科ならびに同大学医学部人間栄養学専攻の教授として着任し、

末梢から行う点滴の目的はナトリウムや水分補給
実は、栄養補給としての役割は微々たるもののです。



本学の食物栄養学科は4月から「健康栄養学科」へと名称変更されました。社会の中の様々な場面で活躍できる管理栄養士・栄養士を養成している健康栄養学科では、医療の現場における栄養療法の重要性についても学んでいます。今回は、医療を受ける側の私たちに身近な存在である「点滴」をテーマとして、「点滴」と「栄養」との関係についてお話し下さいました。

点滴の主な目的は
水分と電解質の補給である

皆さんも一度ぐらいは点滴を打ったことがあると思いますが、点滴がこれほど気軽に使われるようになったのは、ほんのここ数十年のことです。点滴が世の中に普及したのは第2次世界大戦が終わってからのことです、それまでは食べたり飲んだりできなくなった時点で、それがその人の寿命だという考え方方が主流でした。

一方、人間の体内にある体液は、細胞や組織へ栄養を運んだり、老廃物を排出したりするなどの重要な役割を担っています。体重に占める体液の量は、男性で60%、女性で50%、新生児などは80%を占めており、水分を失うことは生命に危険をもたらすことを意味しています。一般的な点滴では、病気や怪我などの理由により体内の水分や電解質(ナトリウムやカリウム)が不足したときに、それらを補給してあげることが主な目的になっています。

また液体には、濃度が「薄い液体」の水分が「濃い液体」の方へと移動し、濃度を均一にしようとする特徴があります。このことから、血液中に濃度の濃い液体を入れると、赤血球の水分が奪われて萎んでしまい、逆に薄い液体を入れると、赤血球の中に水分が入り込んで破裂してしまいます。なので、血管に入る点滴というのは、体液とほぼ同じ濃度を持った「等張液」であることが非常に重要になってきます。

そして、体液の「等張液」にあたるのが、生理的食塩水と呼ばれる0.9%の塩化ナトリウムを含んだ水や、5%のブドウ糖水溶液であり、こ

れが現在の点滴の基本となっています。

点滴で風邪が早く治るのは
本当か?

風邪をひいて病院に来る患者さんには、早く元気になるために点滴を希望する人も多いです。本来、食べることができれば点滴の必要はないのですが、開業医の先生もついつい患者さんの希望を聞いて「ビタミン剤を入れて点滴しておきましょうか」となってしまいます。

このように、点滴で栄養補給ができると考えている人が多いのですが、実際のところ、腕から行う一般的な点滴は、ナトリウムなどの電解質や水分の補給が目的に過ぎず、栄養補給としての役割は微々たるものです。

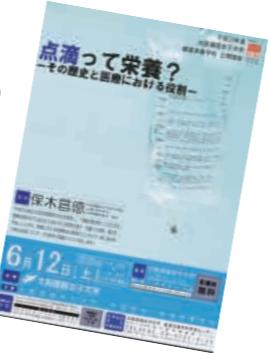
では、点滴から十分な栄養を補給しようとするとどうなるでしょうか?先ほども説明した通り、濃度の濃い液体を血管に入れると、細胞内の水分を奪い血管の細胞を潰してしまいます。点滴に適しているのは5%のブドウ糖水溶液ですが、この濃度で成人が一日に必要なカロリーを摂取しようとすると、10リットルもの点滴が必要になってしまいます。つまり、腕から行う(末梢)点滴で、十分な栄養を補給することはほぼ不可能なのです。

一方で、実際には点滴を打ってもらって元気になったという人もたくさんいます。しかし、これは多くの場合、心理的な面が大きいと考えられています。「病も気から」というのは、ある程度本当のこと、人間の免疫力はこのような心理的効果に大きく左右されているのです。

点滴による栄養補給VS
腸を使った栄養補給

では、点滴で栄養を補給することは不可能なのでしょうか?

実は、病気や手術などで腸が全く機能していない場合や、どうしても食事ができない人の為に中心静脈栄養法(TPN)という方法があります。これは、私たちがよく受けられるような腕への点滴ではなく、カテーテルを使って心臓近くの上大静脈へ液体を流す方法です。上大静脈は上半身の全ての血液が心臓へ戻ってくる大きな血管なので、血流も速く、多少濃い液体を流し込んで、すぐに希釈されるために、血管への影響も少なくて済むのです。この方法が確立されたことにより、腸の機能を失ってしまった患者さんや、先天的に腸に異常を持



って産まれてきた赤ちゃんの命まで救えるようになりました。

しかしながら、「腸を使えるのであれば腸を使いなさい」というのが基本な考え方です。「腸」は使わないと著しくその機能が低下してしまいます。それを防ぐためには、腸を動かせることが大切であり、腸が機能しているのであれば、血管ではなく腸に栄養を流し込むことが原則になります。

家庭でも出来る
経口補液療法

そして最近では、これまで点滴で行ってきたことを、口から行うという考え方も出てきています。経口補液療法(ORT)という治療法は、下痢などによって引き起こされる脱水症状を緩和する手段で、発展途上国ではコレラ患者への治療法として、静脈への点滴と同等の成果が得られることが証明されています。一般的な下痢症状がある場合でも、適度な濃度のナトリウムとブドウ糖を含んでいる液体であれば、腸から吸収されることが分かったのです。

市販されているスポーツ飲料にもナトリウムと糖分が含まれているのですが、一般的なスポーツ飲料は糖分が多いです。実は吸収があまり良くありません。

経口補液に適した専用の水も販売されていますが、実は同じような成分の水は家庭でも簡単に作ることができます。水1リットルに対して、塩3g、砂糖40g、そして果汁を少し加えれば、風味とともに果物の中のカリウムを加えることになり、経口補液用に販売されている水とほぼ同じものが出来上がります。

ご家庭でも、夜中に下痢などを起こした場合は、応急的にこの水を飲むことによって点滴と同様の効果が期待できますので、覚えておくと役立つかかもしれません。

現在の医療現場では、医師・看護師・管理栄養士・薬剤師などがチームとなった栄養サポートチーム(NST)を導入する病院が増えています。入院患者さんの栄養状態を管理することによって、病気からの早期回復を手助けしています。このような現場では、既に多くの管理栄養士が活躍していますが、今後もますます医療現場での「食」や「栄養管理」の重要性は増していくことでしょう。

(この文章は、講演内容の一部を企画広報室がまとめたものです)

これからの予定

KOSAKA

第16回樟蔭ファッションセミナー 「ファッショント私たちの生き方、働き方 ~ファストファッションの行き着く先は?~」

日 時: 10月23日(土) 14:00~16:00

講 師: 北山 晴一氏(本学 被服学科教授)

受講料: 無料 / お申し込み: 必要[締切: 10月21日(木)]

共 催: 関西ファッション連合(KanFA)

上記講座は小阪キャンパス内にて開催いたします。

講座に参加を希望される方は、大学ホームページまたはハガキ・FAX・メールにて、

①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④参加希望講座名を明記の上、お申し込みください。

〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 大阪樟蔭女子大学 学術振興課(小阪キャンパス)

TEL: 06-6723-8237 FAX: 06-6723-8348 E-Mail: gakujuutsu@osaka-shoin.ac.jp

樟蔭学園 英語教育センター主催ワークショップ

「英語授業改革論 新しい学習指導要領の理念と授業のあり方 ~小・中・高連携をめざして~」

日 時: 11月6日(土) 15:00~17:00

講 師: 田尻 悟郎氏(関西大学外国语学部・大学院外国语教育学研究科教授)

受講料: 無料 / お申し込み: 必要[締切: 10月29日(金)]

上記講座に参加を希望される方は、官製ハガキ・FAXまたはE-Mailにて、①住所②氏名(ふりがな)

③電話番号④年齢⑤勤務先/職業⑥メールアドレスを明記の上、お申し込みください。

〒577-8550 東大阪市菱屋西4-2-26 樟蔭学園英語教育センター ワークショップ係

TEL: 06-6723-8183 FAX: 06-6723-8263 E-Mail: eltc@osaka-shoin.ac.jp

樟蔭中学校「身体表現コース」開設記念講演会 開催のお知らせ

樟蔭中学校に平成23年度から「身体表現コース」が開設されるのを記念して、アテネオリンピック女子マラソン金メダリストの野口みづき選手の指導者である藤田信之氏による記念講演会を開催いたします。

日 時: 10月30日(土) 14:00~15:00

講 師: 藤田 信之氏(シスマックス女子陸上競技部/F.R.A藤田ランニングアカデミー 監督)

受講料: 無料 ★詳細は10月以降の中学校HPをご確認ください。

SEKIYA

平成22年度大阪樟蔭女子大学「秋のオープンカレッジ」

「軽スポーツ(ライトスポーツ)でヘルシーライフ!」

日 時: 10月30日(土)より全5回(毎週土曜日) 10:00~11:30

講 師: 佐橋 由美氏(本学 ビジネス心理学科准教授)

受講料: 3,000円(事前振込制) / お申し込み: 必要[締切: 10月8日(金)]

公開講演会

「事例から知る『最近の』うつ病ABC — ああ、実感!! —」

日 時: 11月20日(土) 14:00~16:00

講 師: 夏目 誠氏(本学 臨床心理学科教授)

受講料: 無料 / お申し込み: 必要[締切: 11月19日(金)]

キッズルーム: 要申込 / 有料(お子様一人 300円)[締切: 11月16日(火)]

※今回よりキッズルームは、お子様一人につき300円の有料となります。

上記各講座は関屋キャンパス内にて開催いたします。

各講座に参加を希望される方は、大学ホームページまたはハガキ・FAX・メールにて、

①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④FAX番号⑤参加希望講座名を明記の上、お申し込みください。

〒639-0298 奈良県香芝市関屋958 大阪樟蔭女子大学 学術振興課(関屋キャンパス)

TEL: 0745-71-3168 FAX: 0745-71-3141 E-Mail: s-gakujuutsu@osaka-shoin.ac.jp

心理学部開設記念公開授業「心理学の現場」開催のお知らせ

心理学部では11月6日から計10回にわたり講義科目「心理学の現場」を一般の方々に公開します。

大学・大学院で心理学を専攻し臨床(カウンセリング)、企業、学校、科搜研などで活躍の方々が授業を担当します。 ★詳細は10月以降の大学HPをご確認ください。

上記の講座はHPからもお申し込みいただけます。http://www.osaka-shoin.ac.jp

朝日新聞出版が発行する「大学ランキング2011年版」で、本学から幼稚園教員に採用された人数(2009年実績)が全国で2位(関西では飛び抜けて1位)にランクされました。これは、少子化で採用数が減っているなかで、60余年にわたる伝統と実績をベースに、児童学科の教員が様々な取り組みを行い、また学生たちがしっかり身につけて巣立っているからです。今回は、長年の幼稚園教諭の経験をもとに、保育内容の指導を行っている比留間准教授と阿部講師にお話を聞きしました。

これからの幼児教育は家庭と地域との“連携”

少子化による就職先の減少という問題に加えて、高学歴のお母さんたちが納得できる高度な幼児教育・保育を求める傾向が強まり、幼稚園や保育園への就職は、年々厳しさを増しています。そのような状況にありながら、大阪樟蔭女子大学児童学部・児童学科の卒業生たちは、2009年の幼稚園教員採用数で全国2位、関西ではダントツの1位という、高い就職実績を記録しました。

これには、理由があります。そのひとつは歴史と伝統です。まだ2年制での幼稚園教員の養成が多かった1949年に、子育ての入り口となる幼児教育に携わる者こそ幅広い知識と実践力が必要である、と樟蔭は4年制の大学で幼児教育者育成に取り組みました。附属幼稚園と子ども研究所を併設して、61年にわたり幼児教育の第一線で活躍する多くの卒業生を送り出していました。

その卒業生は、本学のOG講演会などの様々な機会に生き生きとした現場のことを伝えてくれるだけでなく、就職に際しても「樟蔭育ち」の教育を高く評価し、後輩たちを応援してくれています。

もちろん伝統に寄りかかるのではなく、教員たちは、学生が最新の知識と技術を身につけた最良の教諭・保育士になるべく、きめ細やかであたたかい指導を行っています。

「かつての幼児教育は、家庭での成長を受けて子どもたちを広い世界に誘い、自立の基盤を育成する役割を求めていました。しか



し現在は、家庭と“連携”して、保護者と協力しながら健やかに子どもを成長させる役割が期待されています。子どもが好きというのはもちろん大前提ですが、ただ一緒に楽しく遊べるという、いわば子守り的な存在ではいけません。母親ときちんと話し合いながら、専門家としての知識に裏付けられたコミュニケーションを図れる人材が求められています」と言うのは、比留間みどり准教授です。

樟蔭の児童学科は4年制。幼稚園教員免許に必要な単位を取ることだけに忙しい2年制とは異なり、知識と実力の両方を4年間の教育を通じて磨き、多面的な力を身につけることが、好調な就職実績の理由の一つです。

子どもと接して意欲を高め、実力を養う「SHOIN子育てカレッジ」

児童学科の学生たちは、子どもが好きで、幼



「SHOIN子育てカレッジ」の親子体験でデザートのつくり方を教えていたる学生。



比留間みどり

【ひるまみどり】

大阪樟蔭女子大学 児童学部 児童学科 准教授
2002年奈良教育大学大学院教育学研究科教育専攻教育学専修修了。
教育学修士。
1971年大阪教育大学幼稚園教員養成課程卒業。
1971~97年奈良教育大学附属幼稚園教諭、1997~2005年同副園長。
2006年~大阪樟蔭女子大学准教授。



阿部直美

【あべなおみ】

大阪樟蔭女子大学 児童学部 児童学科 講師
1985年大阪樟蔭女子大学学芸学部児童学科卒業。
卒業後、公立幼稚園・私立幼稚園の教諭を経て、
1995~2005年大阪樟蔭女子大学附属幼稚園教諭。
2005年~大阪樟蔭女子大学特任講師。



幼稚園教員採用者数全国2位。幼児教育・保育のエキスパートを育成する児童学科

が、関屋キャンパスで毎年7月に開催される「SHOIN子育てカレッジ」です。このイベントは、少子化対策として、地域ぐるみの子育て支援を目的に、香芝市の後援を得て08年に始めたものです。また地域への貢献のみならず、絵本の読み聞かせなどのワークショップを体験することで、学生の子育て支援力の育成と同時に、就職意欲を高めることも目的にしています。

「イベントは盛りだくさんで、プロの人形劇団の公演もあります。しかし、中心となるのは、学生たちのワークショップでのプログラムです。自分たちでプランを立て、準備し、手づくり絵本の読み聞かせや音楽劇などを行います。どうしたら子どもたちに伝わるのか、興味を持ってもらうことができるのか、試行錯誤しながらの経験だからこそ得るものはとても大きいと思います」と言うのは、比留間みどり准教授とともに学生たちを指導している阿部直美講師です。

ワークショップを行うのは、主に2回生と3回生ですが、1回生もCCS(チャイルドケアサポート)として手伝い、自分たちが主役になる翌年を楽しみにしています。また4回生も、先輩としていろいろとアドバイスをしてくれます。このように学生一人ひとりがスタッフの一員として、積極的・主体的に取り組むことが貴重な経験となります。

そのほかに毎月1回の定期的な活動として、香芝市と協働して「グリム絵本館活動」を行っています。

「地域の子育てを支援するために、保護者や協力してくださるボランティアとともに、子どもたちに絵本の読み聞かせをしています。学生たちは子どもに接する機会が増えて子どもとの交流に自信を深めるとともに、女性としての先輩であるお母さんたちから子育てのいろいろなお話を聞くことができ、大学での学びとはまた違った角度からの勉強になっています。

お母さんたちも、年下の学生に子育ての楽しみや苦労を話すことで、ストレスを解消できているようです。このようなコミュニケーションの経験は、将来必ず役に立ちます」(比留間准教授)

就職試験の実技を磨くための「樟蔭保育検定」

日々の授業や交流イベントで着々と実力を蓄える学生たちにさらに自信をつけさせ、就職を成功に導くために、2009年にスタートしたのが「樟蔭保育検定」です。これは就職に向けての実技のスキルアップを目的にした樟蔭独自の検定で、模擬テストの意味合いを込めて、教員が試験官となって実施されます。検定内容は①ピアノの弾き歌い、②手遊び、③絵本の読み聞かせの3部門。これをセットで受験し、合格すれば1~3級の資格が与えられます。ただし、経験を多く踏ませる目的から、3級、2級、1級の順で受験し、飛び級は認められません。

「春と夏の毎年2回行い、受験資格は2回生以上。3年間で5回受験する機会があります。各部門で5つの評価基準があり、級が上がるごとに採点は厳しくなります。この8月の試験が3回目ですので、今回はじめて1級の試験が実施され、14名が受験しました。そのうち合格したのは6名。かなり厳しい内容ですが、この基準を守って、「樟蔭保育検定」の資格が就職の場面でしっかりと評価されるものになるよう、検定そのものも育てていきたいと思っています」(阿部講師)。

検定合格を目指すことはもちろんですが、この検定を毎回受験することで、就職試験に安心して臨む心構えが養われます。

そのほか、入学時に配布される「就職ハンドブック」では、4年間を通じて学ぶことをしっかりと就職に結びつける道筋を示し、学生の意



「グリム絵本館」での活動の様子。
絵本の読み聞かせや手遊びなど、香芝市のボランティアの方と一緒に毎月1回、定期的に活動を行っています。

欲を高めるようにしています。
また、実習や就職について不安を感じている学生などが、気軽に相談できるよう「実習指導室」を設けるなど、きめ細かなサポート体制も行っています。
「樟蔭に入学てくる学生は、おおらかで優しい子が多いのが特徴です。それはとても素敵なので、その資質を大切にしながら、保育者として社会で活躍できる人材に育てるのが、私たち教員の仕事です。伝統を大切にしながらそこに安住することなく、多くの先輩が活躍している幼児教育の世界に、これから幼児教育を担うべき、素晴らしい学生を送り出したいと思っています」(比留間准教授)

幼稚園教員採用者数が全国2位にランクされたのは、このように教員一同が学業だけでなく、就職に対しても前向きな取り組みを行い、また学生たちがそれに応えて努力した結果だと見えます。



実習指導や就職活動に活用されている、
児童学科オリジナルハンドブックの数々



廣瀬絵菜

ひろせ・えな

絵菜バレエスタジオ・カンパニー芸術監督
絵菜バレエスクール主宰
(社団法人日本バレエ協会会員)

京都府相楽郡精華町出身
1994年3月樟蔭女子短期大学 英米語科卒業

14歳より、ロシア、スイスに留学を繰り返す。
短大卒業後、
オーストラリア国立劇場バレエ学校に入学し
首席で卒業。
1995年バレエ芸術奨励賞、
キャスリン・コーハン記念最優秀賞を受賞。
上海バレエ団を経験し、オーストラリアで
プリマ・バレリーナとして活躍。
1999年絵菜バレエスタジオを設立。
2003年ドイツ国立ベルリンバレエ学校と相互協力。
2008年米ヒューストンバレエBSAと提携。
寮で生活を共にしながら学ぶ生徒もあり、
世界で踊れるバレエダンサーの育成を目指している。
自らもバレエダンサーとしての活動を継続し、
2008年には中国の至宝ダンサーと呼ばれる
クイ・シン・ツオと「カルメン」で共演。
2010年には自らのカンパニーを率いて
マレーシア国立劇場で公演、
来年1月にもマレーシアで「ドン・キホーテ」を上演する。

バレエに魅せられ、世界的なバレエダンサーに。 先生と友達に支えられた、樟蔭の懐かしい日々

5歳から現在まで、バレエ漬けの日々を過ごしてきている廣瀬絵菜さんにとって、樟蔭での中学校から短大の8年間は、先生と友人に恵まれて人間としての豊かさを育むことができた期間でした。毎日、授業を終えてレッスンのために教室を飛び出す廣瀬さんに、クラスメイトは「頑張ってね」と送り出してくれました。日々のレッスンに加え、海外への短期バレエ留学を繰り返す忙しい日々でしたが、樟蔭で友達とごくふつうの時間を過ごせたことが、いま世界で活躍する廣瀬さんを支えています。



家のある駅を素通りして 放課後レッスンへ向かう毎日

廣瀬絵菜さんがバレエを始めたのは5歳の頃。母方の祖母である宝塚歌劇団23期の琴路幾重さんが、廣瀬さんの踊りの素質を見抜いたことがきっかけでした。「当時は田舎に住んでいて、木登りが大好きなおてんば娘でした。京都市内のスタジオに通うのですが、レッスンは嫌い(笑)。ただし、舞台に出て踊るのが大好きで、発表会で踊りたいがために、しぶしぶレッスンをしていたようです」しかし、バレエは幼い廣瀬さんの心を確実にとらえていました。「父は一人娘の私にめっちゃ甘かった(笑)。私が踊るのを見ることを楽しみにしていて、反対はしませんでした。母は、実は宝塚を目指していました。

そんな時に、バレエ仲間が貸してくれたのが世界で最高と言われているクラシックダンサーによる『くるみ割り人形』のビデオ。見ているうちに、こんな凄い世界があるのかと、感動を通り越してショック状態になってしましました。この小6時の経験が、私のバレエへの道を決定づけました」タカラジェンヌだった祖母は宝塚入団を薦めますが、廣瀬さんは受け付けません。「歌やお芝居がある宝塚より、身体の動きだけで極限の美しさを追求するバレエのはうが好きでした。裏返せば、自分はオンチだと思い込んでいたからですけれど(笑)」バレエにのめりこんでゆく娘にご両親は…。「父は一人娘の私にめっちゃ甘かった(笑)。私が踊るのを見ることを楽しみにしていて、反対はしませんでした。母は、実は宝塚を目指していました。

ていましたが、祖母から『ちょっと難しいね』とピシッと言わされたそうです。その反動か(笑)、私は『絵菜は天才。好きなバレエを続けなさい』と言い続けてくれました」

中学進学時、高校や大学の受験を意識せずにスムーズに進学できる私立の学校に行きたいと思っていると、ある人から「樟蔭は明るくておおらか、自由でいいよ」と聞かされて、樟蔭の受験を決意します。

「でも、バレエのことしか頭になかったので、それまでは受験勉強は全くしていませんでした。参考書を開いても、問題自体が意味不明(笑)。そこで、12月からクリスマスも正月もなしに、ひたすら勉強してなんとか合格。周りからは『奇跡やわ』なんて言われました」

この時もその後も、この集中力こそが、廣瀬さんを支える原動力になっています。

樟蔭入学が決まるとともに、通学しやすい奈良市内に新居を建てて家族で引っ越し。ここにも、ご両親の愛情を感じられます。

中学になるとレッスンの大切さを実感し、毎日授業が終わるとすぐに電車に乗り、レッスンに通う日々でした。仲のいい友達も大勢できました。だから、基本の大切さを知り、一生懸命練習しました。また同時に、世界で踊ることを目指すなら

「ホームルームの時間には、先生や友達に『踊ってほしい』と頼まれ、よくバレエを披露していました。また文化祭や体育祭などクラスでダンスを踊る時は、休み時間に振付を考えたり教えていましたが、放課後に一緒に練習することはできませんでした。それでもあわただしく教室を飛び出す私を『絵菜。バレエ頑張ってね』と明るく見送ってくれました。そんな自由でおおらかな樟蔭の雰囲気が大好きでした。友

國で学ばなければとも痛感しました」

帰国すると、高校の授業はすでに始まっていました。しかし、バレエへの思いは強くなるばかり。なんとかしてレッスンと学業を両立させなくてはなりません。

「教えてくれるのは、世界的に認められた指導者アグリッピナ・ワノワの直弟子の先生。バー

ニに着いて基本ポジションを取った瞬間に『それは間違っていますよ』と鋭い一言。今まで学んだことが何だったのかと、愕然としました。それから、基本の大切さを知り、一生懸命練習しました。また同時に、世界で踊ることを目指すなら

「ホームルームの時間には、先生や友達に『踊ってほしい』と頼まれ、よくバレエを披露していました。また文化祭や体育祭などクラスでダンスを踊る時は、休み時間に振付を考えたり教えていましたが、放課後に一緒に練習することはできませんでした。それでもあわただしく教室を飛び出す私を『絵菜。バレエ頑張ってね』と明るく見送ってくれました。そんな自由でおおらかな樟蔭の雰囲気が大好きでした。友

國で学ばなければとも痛感しました」

帰国すると、高校の授業はすでに始まっていました。しかし、バレエへの思いは強くなるばかり。なんとかしてレッスンと学業を両立させなくてはなりません。

「教えてくれるのは、世界的に認められた指導者アグリッピナ・ワノワの直弟子の先生。バー

ニに着いて基本ポジションを取った瞬間に『それは間違っていますよ』と鋭い一言。今まで学んだことが何だったのかと、愕然としました。それから、基本の大切さを知り、一生懸命練習しました。また同時に、世界で踊ることを目指すなら

「ホームルームの時間には、先生や友達に『踊ってほしい』と頼まれ、よくバレエを披露していました。また文化祭や体育祭などクラスでダンスを踊る時は、休み時間に振付を考えたり教えていましたが、放課後に一緒に練習することはできませんでした。それでもあわただしく教室を飛び出す私を『絵菜。バレエ頑張ってね』と明るく見送ってくれました。そんな自由でおおらかな樟蔭の雰囲気が大好きでした。友

國で学ばなければとも痛感しました」

「バレエはスポーツではなくて芸術。芸術は人

「ドン・キホーテ」の一場面



「絵菜バレエスタジオ・カンパニー」が主催する公演ガラ・パフォーマンスより「ジゼル」第2幕を踊る廣瀬さん

マコース」に飛び級で、日本人で初めて入学。「本来は2年制のコースを1年で卒業するためには、英語のレポートを山のように書かなければなりません。ところがそこに気がついたのは卒業3か月前。母に弱音をはいたら、『卒業できないならバレエをやめなさい。首席で卒業しないと学費を出さない』と言われ、ほとんどの寝ずにレッスンとレポート書きに頑張りました」

その甲斐があって、首席で卒業でき、語学力も格段に上達しました。

その後、第一線のバレエダンサーとして上海で活躍。メルボルン、シドニーのバレエ団で全幕バレエの主役を経験し、自身を成長させるとともに、1999年に奈良市で「絵菜バレエスタジオ」を開校し、幼い頃からの夢だった後進の育成に取り組んでいます。世界に通用するバレエダンサーを育てるために、ドイツ国立ベルリンバレエ学校と相互協力して、これまでにスタジオ卒業生から10名をドイツに送り込み、既に7名がヨーロッパのカンパニーで活躍しています。

さらに教育だけでなく、自主公演をする「絵菜バレエスタジオ・カンパニー」を立ち上げて、芸術監督として活躍する傍ら、自分が主役を務めて、国内はもとよりマレーシアなど海外での公演も行っています。今年6月にコロンビアで開かれた「世界バレエフェスティバル」にも、日本代表として招待されました。

「バレエはスポーツではなくて芸術。芸術は人それぞれの持ち味が重要で、点数を競うものではありません。本当に美しいもの、素晴らしいものを求め続ける芸術心を持って、それを実現するための高い技術を身に付ける努力の積み重ねが大切です」

来年1月には、マレーシア国立劇場で2回目の公演を行います。主役はもちろん廣瀬さん自身です。

「絵菜バレエスタジオ・カンパニー」として廣瀬さんが公演された「カルメン」「ジゼル」などのプログラム

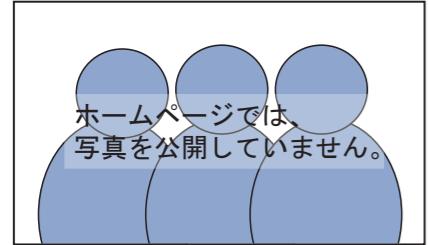


卒業生の方々のご活躍の様子をお知らせください。

さまざまな分野でご活躍されている卒業生の情報をお寄せいただき、みなさまのお力を借りて、この「こもれびの窓」で幅広い卒業生の姿をお伝えしていきたいと思います。身近でご活躍の卒業生の様子をぜひとも樟蔭学園企画広報室までお知らせくださいますよう、お願いいたします。●TEL 06-6723-8152 ●FAX 06-6723-8263

バントワーリング部

今回は中学校バントワーリング部を代表して、部長の●●●●さん(3年楓)、副部長の▲▲▲▲さん(3年桜)、■■■■さん(3年桃)にインタビューしました。



中学校バントワーリング部は現在、部員が31名。12年連続で全国大会に出場し、平成19・20年度には2年連続で日本一に輝くなど、素晴らしい成績を収めています。一年中、ほぼ毎日の放課後練習に加え昼休み練習や朝練習もあり、年末年始も大晦日と三が日以外はお休みなしというハードスケジュールの中、日々鍛錬を積んでいます。

Q 優雅に見えるバトンも体に当たれば、固い鉄パイプ。怪我も絶えないと思います。一番の苦労は?

A ▲▲さん(以下、▲▲)「怪我よりもつらいのは、毎日ある練習ですね。真夏の体育館はひどく暑いし、真冬になると痺れるくらい寒いです。」

■■さん(以下、■■)「バトン部は毎日たくさん練習をしていますが、練習だけでなく勉強も気を抜くわけにいかないので、授業にも真剣に取り組まなければなりません。夏休みや冬休みには、新学期前に先輩による宿題チェックがあって、出来ていなければ大会にも出してももらえないで、必死です。」

Q バトンをしていて、一番楽しい時は?

A ●●さん(以下、●●)「顧問の稻田先生に褒められた時は、とっても嬉しいです!(あまり褒められないので…)あと、踊っている時に周りの動きが見て、息が揃っている瞬間がすごく気持ちいいです。」

▲▲「誰もバトンを落とさなかった時とか、「よしつ!」で思いますね。」

■■「表現することが大好きなので、踊っていると本当に楽しい。今やっている曲は楽しい曲なので、余計に自然に笑顔になってしまいます。」

Q バトンをやっていることで学んだことは?

A ●●「挨拶など礼儀についてはちゃんと教



大会に向かって、丸となって練習する部員たち

えてもらえるので、クラブに入ったことで身についたと思います。」

■■「団体競技なのでたくさんの先輩や後輩もいて、上下関係というか人間関係はすごく学べます。」

▲▲「自分が上手くなることばかり考えるんじゃなく、相手が受け取りやすいようにバトンを投げるとか、相手のことも考えられて初めて、チームワークが出来て演技が成り立つんだってことを、身にしみて分かるようになりました。」

日本一を取り返すことを目標に、みんなで一丸となっている中学校バントワーリング部。吉報をお待ちしております!

(取材日: 8月4日)

NEWS

プロジェクト

堀江地域との産学連携プロジェクトがスタート!

～学生が企画した新商品を堀江のショップで発売!～

大学短期大学部では、今年5月に関西屈指の人気エリア「堀江地域」との連携協定を結び、学生と地域が協働する様々なプロジェクトが始まっています。

これは、堀江地域の活性化に取り組む「堀江立花通ユニオン」との連携協定に基づくもので、堀江地域が目指している「女性に魅力的な街づくり」に本学学生が協力し、その経験を通して学生たちの「社会で活躍する力」が育つことを狙ったものです。

そして、第1弾としてスイーツ店の「B DOLCE」「NOVO VENTO」、インテリアショップ「T MELESS COMFORT」、若者向けアンダーウェア店「Lunch」の4つの人気ショップとの「コラボレーションプロジェクト」を実施。学生たちは各ショップをリサーチした上で、新しい商品を企画・提案し、書類審査やプレゼンテーションなどに挑みました。その結果、学生から出された120案の中から15案が商品化されることが決定し、7月下旬から8月にかけて各ショップで実際に販売されました。

また、一部店舗では、店内ディスプレイに関するコラ



ボレーションも行われ、学生たちが店舗内のスペースを借りて商品ディスプレイなどを担当しました。

今回の連携プロジェクトでは、これ以外にも、調査・分析を通して堀江地区のマーケティングとプロモーション活動を実行する「ブランドマネジメントプロジェクト」、堀江地区への集客イベントの立案から企画運営までを担当する「イベントプロデュースプロジェクト」などの活動も始まっています。

10月31日(日)には、堀江地域において、ハロウィンをテーマに本学の学生たちが企画運営するイベントも予定されていますので、ぜひお楽しみに!



53名が参加しました。午前中には、心理学部の川上教授による「記憶」をテーマとした講演をお聞きいただき、午後からの懇親会では、同窓会岡山支部設立準備委員会の皆さんが出題されたクイズ大会や合唱などを楽しみました。樟蔭にちなんだユニークな問題の数々が出題されたクイズ大会では、テーブルごとのコミュニケーションも活発になり、大いに盛り上がりました。



を踊るなど、楽しい時間を共有することができました。また、最後には全員で校歌を歌い、それぞれが母校や故郷への思いを馳せました。



●樟蔭同窓会東京支部総会
6月8日(火)、美しい庭園で有名な椿山荘において、樟蔭同窓会東京支部総会が行われました。関東地域にお住まいの同窓生107名と、同窓会本部役員ならびに学園教職員が参加し、美味しいお料理と美しい庭園を堪能しながら、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。また、アトラクションでは同窓生によるフラダンスの披露やレクリエーションがあり、参加者全員でフラダンス

イベント報告

卒業生イベントが開催されました!

●樟蔭同窓会総会

5月16日(日)、シェラトン都ホテル大阪において、368名の同窓生が出席の下、平成22年度の樟蔭同窓会総会が開催されました。前号でも紹介しました通り、今年の総会では役員の任期満了に伴う改選が行われ、新会長に選出された●●●●さんをはじめとした新しい役員の方々の就任が、正式に決定いたしました。

また、総会後のパーティーでは、オペラ



国家試験

平成21年度管理栄養士国家試験の合格率が、過去最高の87.0%となりました!

平成21年度の管理栄養士国家試験(平成22年3月21日実施)の合格発表が5月7日にあり、本学の食物栄養学科(健康栄養学科)の新卒業生69名が受験し、60名が合格しました。87.0%という本学にとって過去最高の合格率となり、また大阪府下の管理栄養士養成施設で合格者数第1位、大阪府下の私立大学で合格率第1位という好成績を残しました。これは、受験者全員の合格を目指して、学生と教員が一丸となって細やかな学習に取り組んできた4年間の集大成として掲んだ成果といえるでしょう。

合格された皆さん、おめでとうございます!

●平成21年度管理栄養士国家試験 合格率	
大阪樟蔭女子大学(新卒)	87.0%
全国平均	32.2%
管理栄養士養成課程(新卒)の平均	78.7%

はぐくむ心



樟蔭中学校教諭 保健体育科担当
バントワーリング部顧問

稻田麻衣子
(いなだ まいこ)

【プロフィール】
●●●●年2月、大阪生まれ。

自らもバトン競技者として元日本代表世界選手権4位、全日本選手権大会で個人2位、USオープンで4位など輝かしい成績を残す。

樟蔭バントワーリング部では、12年連続で全国大会出場に導き、金賞8回、最優秀賞2回連続獲得を達成。日本スポーツバトン協会公認審査員、08・09インターナショナルカップ日本代表コーチなどを務める。

